

事事故例 1 (一般貨物) トレーラが下り坂で速度オーバーにより側壁に衝突し横転

曜日・時間・天候	(月)・18時40分・曇り
場所	一般国道 山の中の下り右カーブ
道路の状況	湿潤 幅員13メートル
運転者	年齢43歳 運転歴3.5年
乗務開始～事故発生 の乗務距離	140km
損害	車両破損(トラクタ-大破、トレーラ-小破)
<b>事故概要</b> 当該トラック運転者は、運行経路の指示を受け13時に山梨県に向けて2台で出庫したが、運行指示経路とは別の近道を運行し、上り坂で先行する先輩運転者の運転する連結車(基準内)と離れたため、下り坂で追いつこうと速度を上げ、右カーブに差し掛かったところでエンジンプレーキをかける為2速にシフトダウンしようとしたが、速度が出過ぎてギヤが入らず、減速できないまま時速55km/hで先行車両への追突を避けるためにハンドルを右に切ったため横滑りし、トラクタが右側コンクリート壁に衝突した。弾みでトレーラが横転し、同時にトラクタも横転したもの。 この事故で車両は大破したが、運転者に怪我はなかった。	
輸別・用途・形状	普通・貨物・トラクタ/セミトレーラ(基準緩和)
最大積載量	トラクタ 16000kg / セミトレーラ 40000kg
当時の積載量	32000kg
当時の乗車人員	1人

